

## 第5学年A組 国語科学習指導案

### 1. 単元名 伝え合って考えよう 「人と「もの」との付き合い方」

### 2. 本単元の考え方

#### 【児童の実態】

本学級の児童は、国語科「言葉の研究レポート」で、調べてみたい課題を設定し、様々な方法で調べ学習をし、分かったことや考えたことをレポートにまとめ、交流する学習を行っている。その学習では、自分の課題に応じて意欲的に調べることはできていた反面、伝えたいことを整理したり絵図や表を活用したりして、分かりやすく伝えることは十分にできていなかった。

#### 【単元の価値】

本単元は、ごみという児童にとって最も身近な問題を扱った教材文をきっかけに、環境問題について自分なりの課題を持ち、調べ、分かったことや考えたことを友だちと交流することを通して、自分たちの生活を見直していくことを目標にしている。現代の児童は、地域の抱える環境問題についての情報は多少なりとも身に受けていよう。地球規模の環境問題についても、テレビなどによって耳や目にしているはずである。環境問題は、おそらく児童が生涯にわたって取り組まなければならない課題である。だからこそ、理科・社会科・「総合的な学習の時間」など、学校教育のさまざまな分野で扱っている。しかし、ともすると、それらの扱いは画一的になっていはいないだろうか。児童にしてみれば、同じことを何度も繰り返すことになり、最初の驚きもさめ、熱意を失うことになりかねない。大事な問題であるだけに、6学年を見渡して、教科の特性などを考えながら、どこで、どう扱うかを考える必要がある。この単元では、ごみは、人が作り出すものであるということ、ごみという「言葉」の切り口から考える国語科的アプローチをしている。調べて発表する活動においては、国語科の技能をしっかりと指導するようにしたい。特にここでは「聞く」に焦点をあて、友だちの意見を聞くことで自己内対話をし、自分の考えを深める体験をさせようとしている。問題を、知識・情報として受け入れるだけでなく、いかに自分の問題にしていくかが課題解決力をつけていくかぎになる。

#### 【指導にあたって】

本単元の指導にあたっては、導入で、教材文「ごみ問題ってなあに」に出会わせる。ここでは、あくまで、児童が課題を設定するためのきっかけを作ることを目的とし、説明文の詳細な読み取りは行わせない。筆者の提示している事例や呼びかけ、考え方を参考にし、自分自身の課題を設定させるために資料を用いるようにする。

調べる活動では、より効率よく活動をさせるために、課題別のグループを作る。

交流活動では、友だちの発表を「聞く」ことを丁寧に指導したい。自分の課題や調べたこととどうかわるのか、それによって自分の考えは変わるのか、聞き取りメモを用いて聞き、考えさせたい。

まとめる活動では、交流活動を経ての考えを書きまとめることになる。教材文の読み、調べ活動、交流活動の全体を通じて、自分の課題について書こうとすることでさらに考えを深め、まとめていく活動である。ここでは受け売りではなく、自分の生活を省みて、考えをもととする姿勢をはぐくみたい。

### 3. 情報教育の目標との関連

本学級の児童は、これまで、各教科や総合的な学習の時間等でコンピュータを活用した学習を経験してきている。また、自宅にコンピュータがある児童は全児童の7割を、インターネットに接続している環境がある児童は全児童の半数を超えている。これまでは、ウェブサイトを利用した調べ学習を中心に行ってきた。その中で、検索サイトを用いて、カテゴリーをたどったり、キーワードを入力したりして、ウェブサイトを探し、必要な情報を収集する活動を行っている。その活動を通して、コンピュータを通信手段として、広い範囲から必要な情報を収集できるよさには気付いている。しかし、調べたことをコンピュータでまとめたり、交流したりする学習を経験してきていないため、コンピュータを課題解決に生かす、優れた通信手段であるよさや、様々な情報を一元管理できるよさには気づいていない。

そこで、本単元では、まず、あつめる場面として、様々な方法で調べ学習を行わせたい。その際、ウェブサイト限定せず、図書室の書籍、インタビューやアンケート調査等の中から、自分の課題を解決するのに適当だと思われる方法を選択させるようにする。その後、つくる場面として、調べ学習で得た情報を、取捨選択、再構成し、自分の考えを加えて、まとめさせたい。その際に、発表用ソフトを使用し、文章だけでなく必要に応じて図表や写真も用いたり、発表するスライドの順番を入れ替えながら考えたり、相手に分かりやすいように工夫させまとめさせる。さらに、つたえる場面として、パソコンルーム内のLAN環境を活用し、課題に対する意見を交流させる。

その各過程で、

- ① 情報の収集や交流の範囲や対象を広げられること。(優れた通信手段であるよさ)
  - ② 文字や図、写真などの様々な種類の情報はデジタル化することにより、まとめて保管したり活用したりできること。(様々な種類の情報を一元管理できるよさ)
- を捉えられるようにする。

また、LAN環境を用いての意見交流の際には、書き込んだ先には相手がいることを意識させ、不快にさせないように書き込みをさせるようにしたい。

このような一連の活動を通して、主体的な課題解決にコンピュータを活用するよさを実感させ、次の課題解決にも活用しようとし、情報活用能力が育っていくのではないかと考えている。

### 4. 単元の目標

- 「ごみ問題」について調べた内容や自分の考えが、友だちに分かりやすく伝わるように、組み立てを考えて話すことができる。(国語)
- 発表者の考えと自分の考えとを照らし合わせ、違いや共通点を明確にしながらかく。
- 調べたことと自分の意見とを区別して書くことができる。
- 自分の課題に関連する情報を集め、必要な情報をもとに自分の考えをまとめ、発信・伝達することができる。(情報)

## 5. 単元計画(12時間)

課題解決の 学習課程	主な学習活動と内容	○ 情報活用の場面 ・ 育成する実践力	教師の支援 (教科…○, 情報…◎) 評価…●
<p>であう 2時間</p>	<p>1. 学習のめあてをもち、学習計画を立てる。</p> <p>(1) 教材文「ごみ問題ってなあに」を読み、身近な環境問題について、自分の生活を振り返りながら、調べてみたい課題を考える。</p> <p>(2) 課題について疑問に思ったことなどをグループで話し合う。</p> <p>(3) 教科書P74～78を読み、学習の大まかな流れを知る。</p> <p>(4) 調査計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブページ</li> <li>・ 図書室の書籍</li> <li>・ インタビュー</li> <li>・ アンケート</li> </ul>		<p>○ 自分の課題を考える参考にさせるために、教材文の中で気になる部分に線を引くよう助言する。</p> <p>● 教材文の問題提起に対して、身近な生活から疑問点などを見つけようとしている。(国語)</p> <p>○ 課題に対する見通しを持たせるために、グループで感想を交流させる。</p> <p>○ 調査活動への見通しを持たせるために、より具体的な計画を立てるように助言する。</p> <p>◎ 課題を解決するのに適当な方法を選択させるために、調べ学習の方法の例を提示する。</p> <p>● 自分が調べてみたい環境問題について、課題を見つけ、進んで学習計画を立てている。(国語)</p> <p>● 課題に適した調べる方法を選んで、計画を立てている。(情報)</p>
<p>ふかめる 4時間</p>	<p>2. 調査活動を行う。</p> <p>(1) 課題に関連する情報を集める。</p> <p>(2) 集めた情報をもとに、分かったことや考えたことを発表メモにまとめる。</p>	<p>○ 情報を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集</li> <li>・ 判断</li> </ul>	<p>◎ ウェブページから集めた情報を発表の資料として活用できるように、必要な部分を切り取って保存する方法を指導する。</p> <p>◎ ウェブページから集めた情報には著作権があり、無断で二次的使用をしてはいけないことを指導する。</p> <p>○ 分かったことと考えとを整理させるために、カード形式の発表メモを準備する。</p> <p>● 自分の課題解決に必要な情報を取捨選択しながら集めている。(情報)</p>
<p>まとめる 3時間</p>	<p>3. 発表の準備を行う。</p> <p>(1) 集めた情報を再構成し、自分の考えを加えて、発表の準備をする。</p>	<p>○ 情報をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判断</li> <li>・ 処理</li> <li>・ 表現</li> </ul>	<p>○ 聞き手に分かりやすい発表をするということを念頭に、図表や写真を活用するように助言する。</p> <p>◎ 分かったことと自分の考えを、簡単にコンピュータ上にまとめさせるために、テンプレートを使用するように助言する。</p>

<p>ひろげ る 3時間 (本時)</p>	<p>(2) 発表メモをもとに、話す練習をする。</p> <p>4. 交流する。 (1) 課題について調べて分かったことや考えたことを発表する。 (2) 友だちの発表を受けて、思ったこと考えたこと等、掲示板を通して交流する</p> <p>5. 交流を通しての考えを加えて、課題について自分の意見を作文にまとめる。</p>	<p>○ 情報を伝える ・ 発信・伝達</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発表メモをもとに、聞き手に分かりやすいように、話の組み立てを工夫している。(国語)</li> <li>● コンピュータを使って図表や写真を取り入れながらまとめている。(情報)</li> <li>○ 聞き手にとって分かりやすい発表にさせるために、グループ内で聞き合いながら練習するように助言する。</li> <li>● 資料の提示の仕方や声の大きさ、言葉遣いなどに気をつけて話している。(国語) (情報)</li> <li>◎ 発表の資料を詳しく見せるために、それぞれの児童用パソコンのモニタに映像を映す。</li> <li>○ それぞれのグループへの意見を整理しやすいように、表を用いたワークシートを準備する。</li> <li>● 友だちの発表を、自分の課題や考えと比べたりメモを取ったりしながら聞き、自分の考えを深めている。(国語)</li> <li>● 自分の意見を意欲的に掲示板に書き込んでいる。(情報)</li> <li>● 自分の考えが明確になるように組み立てを考えて、文章を書いている。(国語)</li> </ul>
-----------------------------------	--	-----------------------------	--

## 6. 本時（11／12）

平成17年10月17日(月) 5校時  
パソコン教室

## 7. 本時目標

- 自分の課題について、調べた内容や自分の考えが友だちに分かるように、組み立てを工夫して話すことができる。
- 友だちの考えと自分の考えとの違いや共通点を考えながら発表を聞き、考えを深めることができる。
- コンピュータを使って、課題に対する自分の考えを適切に伝えることができる。

## 8. 本時授業仮説

つたえる場面において、以下のような支援を行えば、コンピュータを使って、課題に対する自分の考えを適切に伝える、発信・伝達の力が育つであろう。

- 効果的に交流させるための掲示板的設置
- 交流の視点を明確にさせるためのワークシートの準備

## 9. 本時指導の考え方

本時は、自分の課題について調べた内容や考えたことを発表し合い、発表に対する考えを交流する活動を通して、友だちの考えと自分の考えとの違いや共通点を考え、自分の考えを付加修正し深めていく学習である。

前時までに、児童は、ごみに関して自分なりの課題をつくり、図書室の書籍やインターネットのウェブページ、インタビューやアンケート調査等の中から方法を選択して調査活動を行い、分かったことに自分の考えを加えて発表用ソフトを使用してまとめ、発表の準備をしている。

そこで、導入で、前時までに発表の準備をしてきたことを振り返らせ、学習の意欲へとつなげたい。

次に、課題別のグループごとに発表を行う。その際、それぞれの発表を関連づけて考えることができるように、課題に共通性のあるグループが続くように発表させる順番を決める。さらに、発表の画面を間近に見ることができるように、それぞれの児童用コンピュータの画面に転送する。また、発表を聞く際に、それぞれのグループへの意見を整理しやすいように、表を用いたワークシートを準備する。

そして、発表に対しての意見を短い時間に多く交流することができるように、LAN環境上にそれぞれのグループへの意見を書き込む掲示板を設定して、自分の考えを書き込ませる。その際、それぞれの考えの立場を明確にするために、発表でよく分かったことや考えに対する賛成意見を書き込む掲示板（すっきり掲示板）とよく分からなかったことや反対意見を書き込む掲示板（もやっと掲示板）を準備する。

最後に、今日の学習の自己評価表を書かせる。その際、発表者としての立場と聞き手の立場の両方から評価ができるように、評価項目を工夫する。

## 10. 準備

- ・ ワークシート ・ 自己評価表

## 11. 本時展開

主な学習活動と内容	○ 情報活用の場面 ・ 育成する実践力	教師の支援 (教科…○, 情報…◎) 評価…●
1. 前時を想起し, 本時のめあての確認をする。		○ 本時学習への見通しを持たせるために, 今日発表する概要を確認させた上で, 本時のめあてを提示する
<p>発表する時 聞いている人に分かりやすく発表しよう。</p> <p>発表を聞く時 友だちの考えと自分の考えとを比べながら聞こう。</p>		
<p>2. 発表会を行う。</p> <p>(1) 発表者は, 自分の課題について調べた内容や自分の考えを発表する。 ※ 『発表名人』 ※ 『スカイメニュー2』</p> <p>(2) 聞き手は, 自分の考えと比べ, メモを取りながら聞く</p> <p>3. 発表に対する意見を交流する。</p> <p>(1) 友だちの発表に対する自分の考えを書き込む。</p> <p>(2) 友だちの書き込みに対する自分の考えを書き込む。</p> <p>・ 分かったことや賛成意見 ↓ すっきり掲示板</p> <p>分からなかったこと反対意見 ↓ もやっど掲示板</p> <p>※ 『ハイパーキューブねっと Jr』</p> <p>4. 自己評価をする。</p>	<p>○ 情報を伝える ・ 発信・伝達</p>	<p>◎ 発表の資料を詳しく見せるために, それぞれの児童用パソコンのモニタに映像を映す。 ● 聞き手のことを考えて, 資料の提示の仕方や声の大きさ, 言葉遣いなどに気をつけて話している。(国語)(情報)</p> <p>○ それぞれのグループへの意見を整理しやすいように, 表を用いたワークシートを準備する。 ● 友だちの発表を, 自分の課題や考えと比べたりメモを取ったりしながら聞き, 自分の考えを深めている。(国語)</p> <p>○ 自分の意見を的確に相手に伝えるために, メモの中から特に伝えたいことを選んで書き込むように助言する。</p> <p>◎ 多くの考えを交流させるために, LAN環境上にそれぞれのグループへの意見を書き込む掲示板を作る。</p> <p>◎ それぞれ考えの立場を明確にするために, 肯定的・否定的の2種類の掲示板を準備する。</p> <p>◎ 読んだ人に不快な思いをさせないために, 相手を意識して書き込むように指導する。 ● 発表に対する自分の考えを意欲的に掲示板に書き込んでいる。(情報)</p> <p>○ 発表者としての立場と聞き手の立場の両方から評価ができるように, 評価項目を工夫する ● 発表者としては分かりやすく発表できたか, 聞き手としては自分の考えと比べながら聞けたかを評価している。(国語)</p>